

区は毎年数十億円の黒字、再開発事業には213億円の補助金

巨額の積立金・ムダ遣いを区民生活支援にまわせ

6月12日区議会本会議

風見利男区議が代表質問

六月十二日の港区議会第二回定例会本会議において日本共産党港区議員団を代表し、風見利男議員が代表質問をおこないました。その要旨を紹介します。

不況・リストラフのもと区民はギリギリの生活

税金の使い方が間違っている

ここ一〇年間、港区の財政は毎年巨額の黒字となっており、少ない年でも一七億八千万円、多い年では七二億三千万円もの剰余金を出しています。区の積立金は六一〇億七千万円、年間の区民税収入は一・七六倍にもなっています。また大企業中心の再開発、大手不動産の超高級マンション建設には二―三億円もの補助

金をつぎ込んでいます。切り詰めるだけ切り詰めたギリギリの生活を余儀なくされている区民の実態などまるで意に介さないといった財政運営です。党区議団は区長にたいし、「ムダづかい、積立金は地方自治体の本来の目的である住民の福祉の増進にこそ使うべき」と強く求めました。

区民生活の実態とかけ離れた「港区基本構想」は議会提出をため根本的に検討し直せ

今議会に「港区基本構想」の提出が予定されています。これは港区の今後の基本的な方向を指し示す重要なものであり、その策定にあたっては、区民の意見を十分に反映したものでなくてはなりません。ところが、今回の基本構想策定は、これら一番大事な手続きがまったくと言っていいほど欠落しています。区は事前に

「港区の未来を考える懇談会」を設置しましたが、「懇談会報告書」で指摘された住宅施策などは答申案ではまったく削除されています。

党区議団は、「基本構想提出はやめ、区民の願いを反映したものに再構築すべき」と要求しました。

超高層巨大ビル建設の野放図な拡大をやめよ

昨年八月原田区長は、他の都心四区の区長との連名で国に対して「都心再生に向けての提言」なる申し入れを行ないました。その内容は、「国一律規制の見直し」、「開発特区制度の創設」、「容積率移転制度の拡充」等々、大規模開発を念頭に入れたものであり、超高層巨大ビル建設をいっそう野放図におしすすめようというところでもないのです。

いま、多くの区民が願っているのは、超高層ビルが林立する港区ではなく、住環境が保たれた、区民が住み続けることができるまちづくりです。

党区議団は、「定住性の高い公的住宅が確保されるまちづくり、住環境に配慮したまちづくりなど、住民参加による『まちづくり基本方針』を作成すべき」と求めました。

区内中小企業は悲鳴をあげている
すべての商店・業者にアンケートを実施し支援策の抜本的強化を

政府は「景気は底をついた」と宣言しましたが、実態をまったく見ないひどいものです。区内の中小企業は悲鳴をあげています。党区議団は、「区商連や工団連、観光協会はじめ、すべての商店や業者の実態や要望をつかむためのアンケートを実施すべき」と要求しました。

また中小企業向け融資について質問。江戸川区では保証協会の保証が得られな

かったり減額された企業に、区が保証をして支援しています。墨田区では区が独自に審査し損失補償する実質的な直貸し制度「小規模企業特別融資」を実施しています。北区では区が全額利子補給し、無利子の「不況対策資金融資」を行っています。党区議団は、港区としても、こうした各区の施策と同様の中小企業支援を実行すべきだと求めました。

学校選択制 30人学級 冷房設置 備品・教材購入 図書館蔵書

区は子ども・父母・学校関係者の願いに応えよ

党区議団 独自の学校訪問・実情調査踏まえ区長、教育委員会に質問

多くの疑問・不安を無視し教育委員会が「来年四月実施」を強行決定
学校選択制 白紙にもとし、区民・現場の声を聞くべき

今、「学校選択希望制」について、保護者、教職員、PTAなどから、「通学の安全性はどうなのか」、「地域とのかかわりが保てなくなる」、「大規模校は一層大規模に、小規模校はさらに小規模になるのではないか」など疑問や不安がたくさん寄せられています。幼小中PTA代表への説明会の場でも、「今のままで良いのではないか」、「来年実施では

「四〇人では多過ぎる」「三〇人学級の実現に力尽くせ

この間の党区議団の学校訪問でも、「四〇人では多過ぎる」、「二クラスを三クラスにわけ目がゆきとどくようになった」など少人数学級を求める声が多数よせられています。党区議団は、①国に三〇人学級を実施するよう要求すべき、②

「普通教室に冷房を」は関係者の圧倒的な声、設置決断を

この間党区議団は、児童・生徒が学校での大半を過ごす普通教室へのエアコン設置を一貫して要求してきました。学校訪問の中でも、「あまりにも暑いと『勉強に集中して』とはいえない」、「窓をあけても熱風がくる」、「五日制で一番暑い五・六時間目が増えエアコン

学校訪問の中でも、「あまりにも暑いと『勉強に集中して』とはいえない」、「窓をあけても熱風がくる」、「五日制で一番暑い五・六時間目が増えエアコン

学校運営費・維持管理経費を当面九五年度水準に戻せ

今年度（〇二年度）の学校運営費・維持管理経費は、九五年度と比べ約半分の水準にまで削られています。各学校では、「備品を買いたくても買えない」、「最近新しい教具を買っていない」など深刻な実態となっています。党区議団は教育委員会に対し、「子どもたちの教育予算は何を置いても確保するのが教育委員会ではないのか」、「学校運営費や維持管

今年度、すべての小中学校の図書館に「リーディングアドバイザースタッフ」（読書支援スタッフ）が配置され、各学校でたいへん歓迎されています。党区議団は「引き続き、配置日数を増やすなど充実を図っていく必要がある」と求めました。

また、スタッフが配置され図書書の整理がすすんでいます。古い本がたくさんあり、その整理から手をつけている学校が大半です。蔵書の半分近くを廃棄しなければならぬ学校もあります。党区議

また、「校庭の樹脂・ゴム系舗装が古くなって滑る」、「カベがはがれている」、「雨漏りがする」など、補修の必要なところが多数ある実態が明らかになっています。党区議団は「すべての学校を調査し、改修・改善すべき」と求めました。

図書館の蔵書充実は特別予算を組んでも実施すべき

党は「学校図書館にふさわしい蔵書の充実を、特別予算を組んでも実施すべき」と求めました。

その他、以下の質問も行いました

- 有事法案への反対表明を
- 環境2号線計画は権利者の生活・営業再建の保証を
- 実態に見合う介護保険料・利用料の軽減を
- 学校等区有施設の耐震補強工事・計画保全システムの設定を
- 都税と銀行の強引な差押さえを許すな
- 固定資産税の一層の軽減を求めよ
- 学校五日制に伴う児童館の対応計画の前倒し実施を
- 青山臺地内区道の交通規制を
- 芝公園の緑と文化財を守れ

ご意見をお寄せください